

大分県立看護科学大学平成 11 年度公開講座

- 暮らしの中の健康リスクとその周辺 -

高橋 久夫 Hisao Takahashi, M. A.

大分県立看護科学大学 地域交流・公開講座委員長 Oita University of Nursing and Health Sciences

高齢化社会の進展とともに、生涯学習に対するニーズがますます高まっていく今日、コミュニティ・カレッジとしての大学の役割はきわめて大きいと言っても過言ではない。

本学では、第 1 回の公開講座を隔週土曜日の 5 回シリーズで、地域の一般住民を対象として実施した。5 回の講座を通じて延べ 200 人の受講生が参加したが、その 68% が 50 歳以上であった。この講座は本学の特徴を生かし、『暮らしの中の健康リスクとその周辺』を統一テーマとし、初年度は「気づき」を副題として行った。開催日時、演題および担当講師は下記に示した通りである。

	開催日時	演題	講師
第 1 回	9 月 18 日 (土) 14:00 ~ 16:00	「健やかに生きるために」	草間
第 2 回	10 月 2 日 (土) 14:00 ~ 16:00	「仕事と心のリスク」	河島
第 3 回	10 月 16 日 (土) 14:00 ~ 16:00	「生活の中の化学」	鈴木
第 4 回	10 月 30 日 (土) 14:00 ~ 16:00	「チンパンジーのセルフケア」	板倉
第 5 回	11 月 13 日 (土) 14:00 ~ 16:00	「環境リスクをどう読むか」	甲斐

本学最初の公開講座であるし、受講の応募数の見当がつかず不安もあったが、いざ蓋を開けてみると応募数が当初予定していた募集人員を大幅に上回った。

われわれの公開講座が、地域社会の人々の健康で意義ある日常生活と結びつくことは、大学の社会的貢献として意義があるだけでなく、大学に於ける学術研究の発展にもつながることと思う。本講座が、大学と地域住民との交流の新たな発展を生み出すことになれば幸いである。